

ま え が き

本県における児童生徒の体力・運動能力は、中学生の体力が全国平均を上回る水準にある一方で、小学生の体力は全国平均を下回る年もあり、小学生の体力向上が課題の一つになっています。

こうした状況を改善するためには、幼少期の運動経験や運動遊びの好き・嫌いが、その後の運動習慣や体力・運動能力に大きな影響を与えているという先行研究の結果から、幼児期に多様な運動やスポーツに親しみ、運動する意欲を高めていく取組が重要であると考えています。

平成24年3月に文部科学省から示された「幼児期運動指針」には、幼児期に運動遊びを十分に行うことは、多様な動きを身に付けるだけでなく、生涯にわたって健康を維持することや、何事にも積極的に取り組む意欲を育むことなど、豊かな人生を送るための基盤をつくるという幼児期の運動遊びの重要性が指摘されました。

このため、県教育委員会では、平成26年度から子供の体力・運動能力向上を図るため、有識者等を交えた「幼児運動遊び充実プロジェクトチーム」を発足し、幼児期における多様な動きを取り入れた運動遊びの調査研究を行い、その研究の一端を、県内各地で開催した幼児運動遊び指導者講習会において紹介してきたところです。

このたび、これまでのプロジェクトチームによる調査研究で得られた成果を、幼児の発達の段階に応じて効果的に取り組むことができる「幼児の運動遊びガイドブック」としてまとめました。

各園におかれましては、本ガイドブックを参考に、園や地域の実情に応じた運動遊びに取り組まれることを期待しています。

終わりに、研究協議や本書の執筆にご尽力をいただきましたプロジェクトチームの先生方や関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

平成28年3月

岐阜県教育委員会